

スピリチュアルペインに寄り添うソーシャルワーク支援 ーソーシャルワーカー養成教育において大切にされるべきことを考えるー

1. 開催の趣旨

2020年6月、ソーシャルワーカー倫理綱領の改定が行われました。新倫理綱領では、6つ目の原理において、「ソーシャルワーカーは、すべての人々を生物的、心理的、社会的、文化的、スピリチュアルな側面からなる全人的な存在として認識する」と明記され、従来のバイオ・サイコ・ソーシャルの視点に加えスピリチュアルな視点が示されました。

柏木哲夫は、スピリチュアルペインの特徴を「人生の意味への問い」「苦しみの意味」「死生観に対する悩み」など7つの特徴として説明しています。終末期医療においては、患者・家族が死に向き合う中でスピリチュアルペインを経験することが多くなりますが、そのような場面だけではなく、だれであっても人生を揺るがすような生活課題に直面した時に、「何故わたしが？」という問い、「生きることを意味を見失う」といったスピリチュアルペインを経験することが少なくありません。

スピリチュアルペインにソーシャルワーカーはどのような支援ができるのか。クライアントの問いはクライアント自身が向き合うこととなりますが、クライアントの痛み思いを寄せ、共に向き合おうとする姿勢が根底に必要です。

本研修は、スピリチュアルペインに寄り添うソーシャルワークをテーマとして、ソーシャルワーカーとして求められる姿勢・支援を理解すること、加えて養成教育に関わる研鑽の機会とすることを狙いとし、「人間の尊厳」を価値とした生きることの本質を支えるソーシャルワーク支援について考えます。

*なお、本研修は2019年度に実施（2020年2月29日）する予定でありましたが新型コロナウイルス感染拡大防止のため今年度に延期されたものです。今回は、オンデマンドによる配信型の研修といたしましたので、より多くの方にご参加いただけたと考えております。

2. 開催日程（配信期間）

2021年3月7日（日）～20日（土）

3. 参加申込（参加費無料）

以下のサイトよりお申し込みください。

<https://forms.gle/NUE6q3qKtovfSkGK7>



お申し込みいただいた方に、メールにて視聴用のURLおよび資料配信いたします。

*URL、資料配信は開催日程の直前となりますのでご了承ください。

4. プログラム

第一部：講演

「スピリチュアルペインに寄り添うソーシャルワーク支援」

明治学院大学 教授 深谷 美枝 氏

第二部：実践報告

「スピリチュアルペインに寄り添う支援からソーシャルワーカーに求められること」

司会 丸山 正三 (藤女子大学)

コメンテーター 深谷 美枝 氏

報告1 高齢者領域から

社会福祉法人芦別慈恵園

くらし事業部長 和田 直樹 氏

報告2 障がい児・者領域から

医療法人稲生会 生涯医療クリニックさっぽろ

ソーシャルワーカー 目黒 祐美子 氏

報告3 医療領域から

ホームケアクリニック札幌

医療相談室係長 下倉 賢士 氏

〔講師紹介〕

深谷 美枝 氏 明治学院大学社会学部教授・横浜聖霊キリスト教会牧師

社会福祉実習サブノート (共著 2000 年)、実習生のための対人援助技術 (共著 2001 年)、社会福祉援助技術現場実習 (共著 2002 年)、ソーシャルワーク実習 (編著 2009 年) など実習教育に関わる研究に加え、福祉・介護におけるスピリチュアルケア (共著 2008 年)、病院チャプレンによるスピリチュアルケア (共著 2011 年) など、スピリチュアルケアに関わる研究に取り組まれている。

＜お問い合わせ＞

北海道ブロック研修プロジェクト担当

丸山正三 (藤女子大学人間生活学科)

mshozo@fujijoshi.ac.jp